地域福祉の推進は行政だけで取り組むのではなく、
浦添市社会福祉協議会をはじめとして、市民や自治会・
地域団体、事業所等との協働により進めてくものです。

浦添市社会福祉協議会に期待する役割

社会福祉法の第109条において、社会福祉協議会は「地域福祉を推進することを目的とする団体」として明確に位置づけられており、地域福祉推進の中核的な存在となっています。浦添市社会福祉協議会においては、ふれあいサロンの実施による地域コミュニティの醸成をはじめ、ボランティアの育成を通じた人づくり等、地域における支え合いの受け皿づくりを積極的に行ってきました。

このような取り組み状況を踏まえ、本市の地域福祉推進において中心的な役割を担っていくことを期待するとともに、行政との緊密な連携のもと、協働により地域福祉の推進に取り組んでいくことを期待します。

市民に期待する役割

市民には、地域社会を構成する一員として、地域の課題に対し、市民同士で支え合いながら課題解決に向けて行動していくことが求められます。地域で困っている人を見かけたら、声かけや手助けを行うなど、できる範囲で簡単なことから実践するとともに、ボランティア活動等に参加するなど、無理なく地域活動に参加していくことを期待します。また、日頃から隣近所同士で積極的にコミュニケーションを図るなど、身近な地域に関心を持ち、積極的に関わっていくことを期待します。

自治会・地域団体に期待する役割

自治会や地域団体は、市民同士が連携する土台であると言えます。そのため、自治会等の地域活動団体の活動内容の充実を進めるとともに、積極的な自治会加入活動を展開するなど、地域の絆づくりを図っていくことを期待します。また、困り事を抱えた市民を地域の支え合いにより支援していくことができるよう、行政や浦添市社会福祉協議会、中学校区コミュニティづくり推進委員会等との連携により、支え合いの仕組みづくりに積極的に関わっていくことを期待します。

事業所に期待する役割

市内には様々な事業所が立地しています。社会福祉法人をはじめ、保健・医療・福祉等の関係事業所は、市民の地域での暮らしを支えるサービスの提供機関として、それぞれの専門性を活かし、支え合いの仕組みづくりへの積極的な関わりを期待します。特に、社会福祉法人については、サービス利用者に対してだけでなく、地域との関係を密にし、積極的に社会貢献を行っていくことを期待します。また、地域の構成員として中学校区コミュニティづくり推進委員会活動に積極的に参加するとともに、ボランティア活動を推奨するなど、社会貢献活動の実践を期待します。

重点的に取り組む事項　**「支え合いの仕組みづくり充実プラン」**

地域福祉計画を着実に推進するためにも、浦添市がめざしてきた支え合いの仕組みを構築していく必要があります。特に、身近な地域における見守り・支え合いの活動や、そのための体制づくりは、本計画のめざす社会の姿そのものと言えます。そのため、市民の理解と協力のもと、行政区単位での支え合いの仕組みづくりをはじめ、キーパーソンの養成、平常時からの災害時要援護者の見守り実施等、地域における支え合いの仕組みづくりに積極的に取り組みます。

【関連する主な実施事業名】
- 『行政区コミュニティづくり推進委員会（仮称）』の立ち上げ促進　（目標１-施策１-④）
- 『てだこ市民大学』との連携による地域人材の育成　（目標２-施策１-④）
- キーパーソンの発掘・実践を通した養成　（目標２-施策２-①）
- 地域づくり・絆づくり活動の拡大　（目標２-施策３-①）
- 平常時から要援護者を見守る安心のまちづくり　（目標３-施策２-②）

発行：浦添市 福祉部 福祉総務課
沖縄県浦添市安波茶１－１－１
TEL：098-876-1234（代表）

てだこ・結（ゆい）プラン

― 第四次浦添市地域福祉計画 ―

～ 概要版 ～

平成26年３月 沖縄県 浦添市